

実施内容-1

program1

合唱「コルチャック先生」

世界大戦戦時中、ナチス侵攻下のポーランド首都ワルシャワにて、200人の子どもたちの権利と未来を守った「ヤヌシュ・コルチャック先生の物語」の中から、3楽曲を劇団ひまわりが合唱。

開催時間 / PM13:32 ~ 13:55

出演 / 劇団ひまわり

内容 / 「ヤヌシュ・コルチャック先生の物語」の中から3楽曲を合唱

(1)「石のうた」

(2)「ホームのうた」

(3)「太陽の光はいつだって」

STORY

コルチャック先生

ナチス侵攻下の首都ワルシャワ。

ユダヤ人孤児院の院長、ヤヌシュ・コルチャックと200人の子どもたちとの生活があった。

ナチスの迫害は日に日に激しさを増し、孤児院の子どもたちも、ゲットー(特別居住区)に移り住むことになる。

コルチャック先生は悪化していく環境の中で、子どもたちの人間としての尊厳を守るために懸命の努力を続けるが、ガス室の待つ強制移送の日が近づいてきた -。



「コルチャック先生」とは？・・・



ユダヤ系ポーランド人、ヤヌシュ・コルチャック(1878年~1942年)。彼は生涯を子どもたちに捧げ、その仕事は医者として、童話や教育書の作家として、ラジオのパーソナリティーとして、広い分野で教育や子どもの問題について世に提起しました。

また、孤児院で子どもたちと共に生活し、子どもの自発性や好奇心を尊重して、彼らの自治に任せるという、今日から見ても革新的な教育を実践していました。

彼の願いと主張は、1989年国連で制定された「子どもの権利条約」に生かされています。

日本ではまだあまり知られていませんが、ポーランドでは知らない人がいない程の偉人です。